

社外技術表彰

「第57回十大新製品賞 日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞

“ワイヤ放電加工機MPシリーズ”が日刊工業新聞社が主催する“第57回十大新製品賞 日本力(にっぽんぶらんど)賞”を受賞した。ものづくり大国日本を支える様々な高精度・高性能工作機械の中で、MPシリーズは独自の加工制御技術を駆使して市場が大きく伸びているハイブリッド車用モータやスマートフォン用電子部品の金型を±1.0μm以下の超高精度に加工し、かつ高い生産性(加工速度を当

社従来比30%向上)を実現したことが評価された。



「第47回市村産業賞 貢献賞」を受賞

“自律型セル生産ロボット”で、当社開発本部の田中健一、名古屋製作所の小林智之が京都大学の樫木哲夫教授とともに“第47回 市村産業賞 貢献賞”を受賞した。人に代わる知能化ロボット技術として、三次元ビジョンセンサによるばら積み部品の取り出し、力センサによる精密組立て技術などを大学との連携活動を通じて広く研究開発し、産業用ロボット“Fシリーズ”、可児工場の先進的なセル生産システムとして実用化し、電気電子分野など多方面での生産自動化に貢献している点が高く評価された。



「IEEEマイルストーン」を受賞

京大大学生存圏研究所と当社が共同で開発した“MU (Middle and Upper atmosphere) レーダ”が、大気科学やレーダ技術の発展に大きく貢献したとして、IEEE主催の“IEEEマイルストーン”に認定された。

このレーダは、1984年に完成した世界初のアクティブ・フェーズド・アレー方式の大気レーダであり、完成後もシステムの改良を重ねるごとに世界一(*)高性能な大気レーダとして、超高層物理学、気象学、天文学、電気・電子工学、宇宙物理学など広範な分野にわたって多くの研究成果を生み出した。

*1 2015年5月13日現在、当社調べ



「平成27年春の黄綬褒章」を受賞

2015年5月15日の春の褒章で、当社通信機製作所の雲瀬哲治が“黄綬褒章”を受章した。入社以来40余年、同製作所の主力製品である衛星通信アンテナ・レーダ・光学/電波望遠鏡等の大型精密機器の溶融溶接及び組立てに従事し、特に大型光学赤外線望遠鏡“すばる”の軽量化溶接や太陽観測衛星“ひので”に搭載の精密光学機器の組立てに卓越した技能で貢献した。2011年には“現代の名工”

の表彰も受け、現在も溶接分野の第一人者として後継技能者の指導育成にも尽力し、これらの実績が評価された。

